

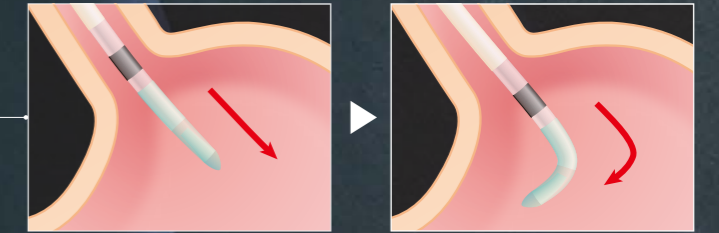
先端屈曲機構が 新たな挿管テクニックの 選択肢を提供します。

挿入(被曝)時間短縮や、スムーズな深部挿入により、
患者さんの負担を減らし医療従事者をサポートします。

先端屈曲機構が、胃内での方向付け、
幽門・輪状ヒダ・屈曲部の通過性向上に寄与

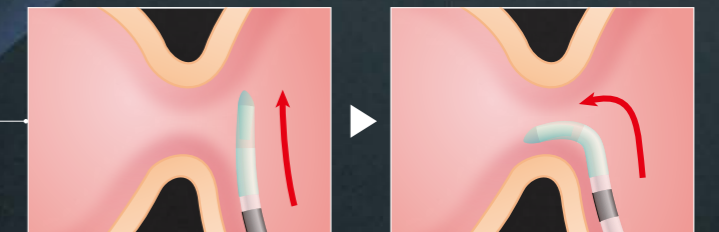
胃内での方向付けが可能

胃内で先端が胃穹窿部に進み、幽門方向になかなか進まないことがあります。屈曲させてトルクを効かせることにより、チューブ先端を幽門側へ向かせることが可能です。



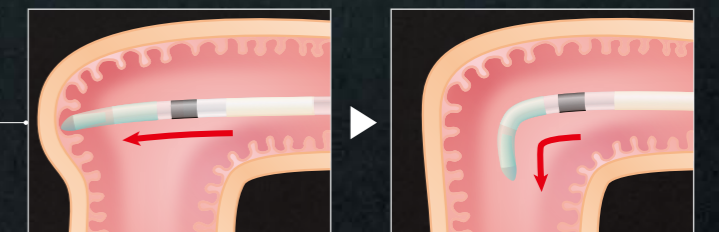
幽門通過性が向上

先端を屈曲させてトルクを掛けることにより、チューブ先端を幽門へ向かせることが可能です。



腸管の輪状ヒダや屈曲部での通過性向上

輪状ヒダや屈曲部で、チューブ先端が粘膜面にスタックした際、先端を屈曲させて通過させることが可能です。



■ 球状ヘッドを採用

側孔からの
ガイドワイヤーの
飛び出しを軽減



特許登録 第4695104号
感圧登録 第1329762号

■ エアーベント口からの造影剤注入

従来のメインルーメンからの注入に比べ、より先端から
造影剤を注入することが可能

- ※ 水溶性造影剤は3倍以上に希釈(推奨)し、20mLのシリンジをご使用ください。
- ※ 注入に際しては、一時的に一方弁を取り外してください。
- ※ 腸管造影後、速やかに微温湯(20mL以上)によるフラッシングを行ってください。

■ チューブ内腔への親水性コーティング

ガイドワイヤーの良好な滑性に寄与



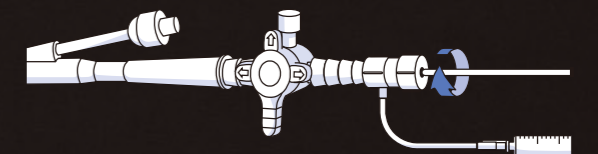
■ バルーンへの注排水の負荷を軽減

バルーンルーメンを拡大し、
バルーン注排水時の負荷を軽減

- ※ バルーンへの注水は20mLのシリンジをご使用ください。

ポート付コネクタの使用方法

ポート付コネクタのねじ込みキャップを締め込み、ポートからチューブ内腔に20mL以上の滅菌蒸留水を追加注入することにより、手技中、親水性ガイドワイヤーが常に濡れている状態とすることができます。



活栓の使用方法

活栓のレバーを回し、親水性ガイドワイヤーを固定具のレバーに挟み込むことにより、親水性ガイドワイヤーを固定させることができます。

